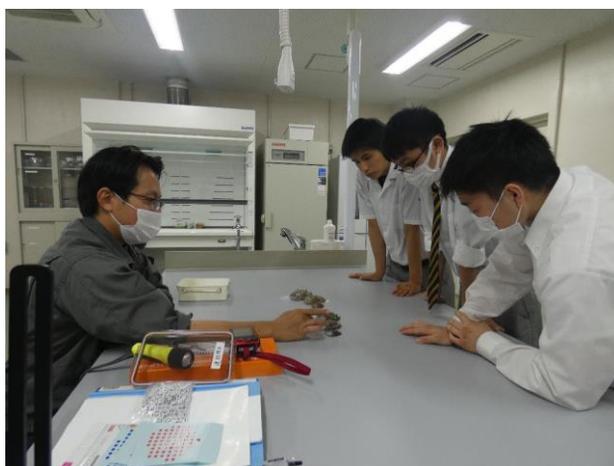


令和3年1月15日（金）

「アワビの殻にある捕食痕観察調査（9月）」

9月は11日、15日、30日の計3回実施しました。東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターに放課後集まり、毎回約2時間アワビの殻を観察しました。

9月の活動から新たに2年生3名も加わり、活動継続に向けて少しずつ引継ぎをおこなっています。3年生と同じく2年生にもオリエンテーションを実施したところ、好感触でその後の観察活動も意欲的に取り組んでいました。



令和3年1月15日（金）

「アワビの殻にある捕食痕観察調査（10月）」

10月は1日、9日、16日、24日の計4回実施しました。

これまでは大槌町赤浜地区の海底で採取されたアワビの殻調査が中心でしたが、今月から大槌町長根地区に変わりました。生徒たちからは、「地区が変わるとアワビの殻の見た目や大きさはどう変化するのか」といった質問が飛び出し、活動を通して研究者目線の考え方も備わってきていることを感じました。



令和3年1月15日（金）

「アワビの殻にある捕食痕観察調査（11月）」

11月は2日、18日、20日、28日の計4回実施しました。

写真は28日（土）の様子です。この日の天候は晴れで風もなく穏やかでしたが、殻洗いもそろそろ屋内作業となりそうです。



令和3年1月15日（金）

「アワビの殻にある捕食痕観察調査（12月）」

12月は3日、11日、16日、17日の計4回実施しました。
今回殻洗いしたアワビの殻は、11月中旬～12月中旬にかけて、先生が大槌湾に潜水し採集してきたものだそうです。先生の研究への熱意に負けないよう、丁寧に汚れを落としました。

